

平成20年度 傾斜的研究費(全学分) 研究報告書

研究代表者 所属	産業技術大学院大学 創造技術専攻	フリガナ 研究代表者氏名	カノ ヨシヲ 管野 善則	職	教授
研究分担者所 属	創造技術専攻	研究分担者氏名	越水重臣	職	准教授
	創造技術専攻		館野寿丈		准教授

研究課題名	欧州大学との国際PBL支援システムに関する研究
研究実績の概要(600~800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)	
<p>欧州大学との国際PBLの実現に向けて、設備的な条件の整理と制度的な条件の整理との両方の観点から研究を実施した。設備的な条件の整理として、国際間遠隔ミーティングを定期的に行うことができるようにするための安価で安定な通信手段を検討した。そして、インターネットを媒体とした会議システムであるSkypeを選択し、実際に仏国と自国とを結んだ遠隔通信実験を行った。この結果、日本から仏国に持ち込んだモバイル用PCおよびSkype機器によって、仏国の無線LANシステムおよびインターネット通信システムに接続し、カメラ画像・音声・文字を含む通信ができることを確信した。ただし、一部の大学では、セキュリティー上の問題からSkype通信を制限しており、通信できない場合があることも明らかになった。また、紙に書いたイラストなどの通信には、カメラ画像は不適であり、別の通信手段を必要とすることも明らかになった。</p> <p>制度的な条件の整理として、仏国の大学院修士課程に相当する教育システムの調査を行い、自国のシステムとの整合性について検討した。欧州での大学院教育は、欧州各国での独自の教育プログラムを実施することに加え、複数国と共同で教育プログラムを組み立てようとする試みが見られる。その一つにMaMaSELFプログラムがある。MaMaSELFプログラムでは、修士課程での一定期間以上を所属大学がある国以外の国で研究活動を行わなければならないと定めている。このような先進的な教育プログラムを実施している仏国のレンヌ大学およびナント大学を訪問し、現地調査を行った。この調査結果を整理するとともに、MaMaSELFプログラムの研究滞在先として産業技術大学院を選択できる制度も構築した。</p>	

平成20年度 傾斜的研究費(全学分) 研究報告書

学会発表(発表題目、発表大会名、年月を記入)					
論文発表又は著書発行(発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入)					
科学研究費補助金への応募状況、採択状況					
国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況					
その他社会貢献 [公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]					
本研究を通じて、仏国レンヌ大学の教員および学生とディスカッションを行い、国際交流を果たすことができた。また、欧州の先進的な教育プログラムの一つであるMaMaSELFプログラムの研究滞在先として産業技術大学院大学を選ぶことができるよう提携を結ぶことができた。これにより留学生が本学を滞在先として選ぶこととなれば、本研究は非常に大きな国際貢献となる。					
研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況					
工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類・番号	出願年月日	取得年月日